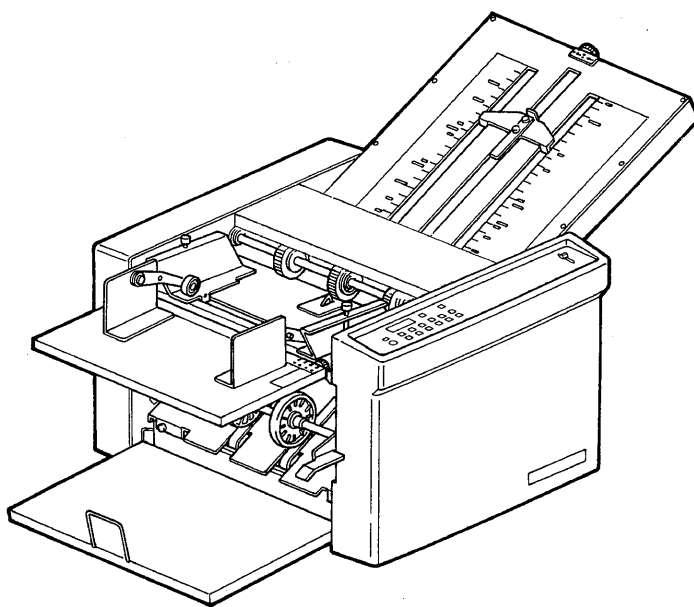


UCHIDA

T714-01006A

取扱説明書

紙折機 F-43A



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく
お読みください。また、いつでもお読みになれる
よう保管場所を決めて、大切に保管してください。

株式会社 **内田洋行**

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は高温注意)








⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)

安全上の注意

 警 告	
	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	交流100V周波数50~60Hzで使用してください。 電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。 周波数が範囲外の場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に、物をのせないでください。 機器内部に水・異物が入った場合、火災・漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷・破損・加工をしないでください。火災・感電の恐れがあります。 重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

⚠ 注 意

⊘	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたらしさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

目次

安全上の注意	2
1) 仕様	4
2) 付属品	5
3) 各部の名称	6
4) 操作パネル名称	7
5) カウンタ表示	8
6) カウンタモード	9
(A) 加算カウンタ	9
(B) 減算カウンタ	10
7) 準備	11
8) 使用方法	14
(A) 定型紙の定型折り	14
(B) 定形外用紙の定形折り	16
(C) クロス折り	19
9) 調整	20
(A) 斜行調整	20
(B) 微調整	21
テーブル1の微調整	22
テーブル2の微調整	23
10) 記憶	24
(A) 記憶	24
(B) 記憶解除	26
(C) 全記憶解除	27
11) エラーコード	28
12) トラブルガイド	30

1) 仕様

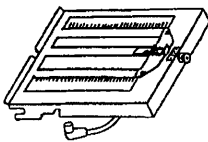
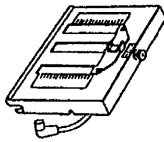
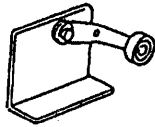
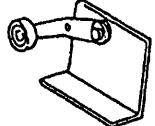
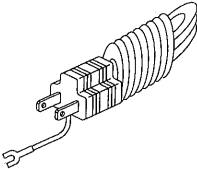



型式	F-43A
用紙寸法	B7判 (91×128mm) ~ A3 (297×420mm)
用紙重量	45~105 g/m ² (2折りのみ152 g/m ²) 40~90Kg (2折りのみ135Kg)
紙質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙
折型	2折り・観音折り・内3折り・外3折り・4折り・片袖折り その他変形折り・2回折りによるクロス折り
折り寸法	最大折り寸法 テーブル1 : 320mm (外3折り・4折り・片袖折り) テーブル2 : 217mm (2折り・観音折り・内3折り)
	最小折り寸法 テーブル1 : 48mm (観音折り・内3折り) テーブル2 : 48mm (2折り・外3折り・4折り・片袖折り)
給紙方式	3輪紙サバキ方式
給紙積載量	500枚 (上質紙64 g/m ²)
処理速度	2800~7200枚 (B4 2折り)
操作方式	デジタルテンキー・自動設定 (マイコン内臓による)
付加機能	斜行調整・紙詰まり検知・4桁カウンタ (加算・減算モード付き) 用紙サイズの自動検出。(A3・B4・A4・B5) クロス折り用補助用紙ガイド付き オプションでミシンユニット装着可
騒音	スタンダー75 dB・バイスタンダー73 dB
消費電力	60W
使用電源	100V 周波数50・60Hz
機械寸法	835×515×480 (使用時) 620×515×480 (収納時)
機械重量	28.5kg
オプション	ミシンテーブルASS 'Y (ミシン目4mm)

2) 付属品

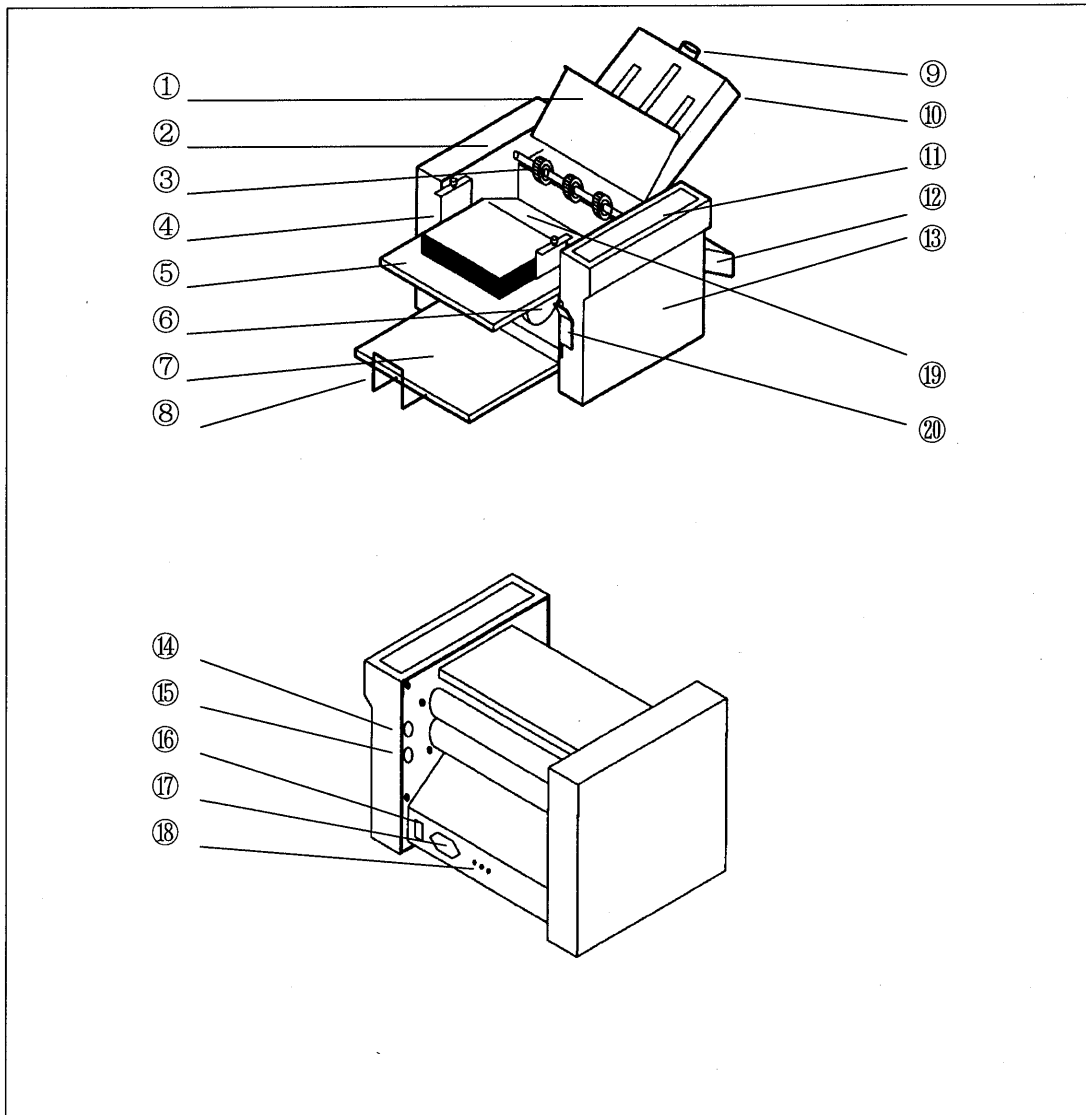
開梱したら、付属品の確認をしてください。

万一、不足していたらすぐに販売店に連絡してください。

保証書の販売店サインと購入日の記入を確認してください。

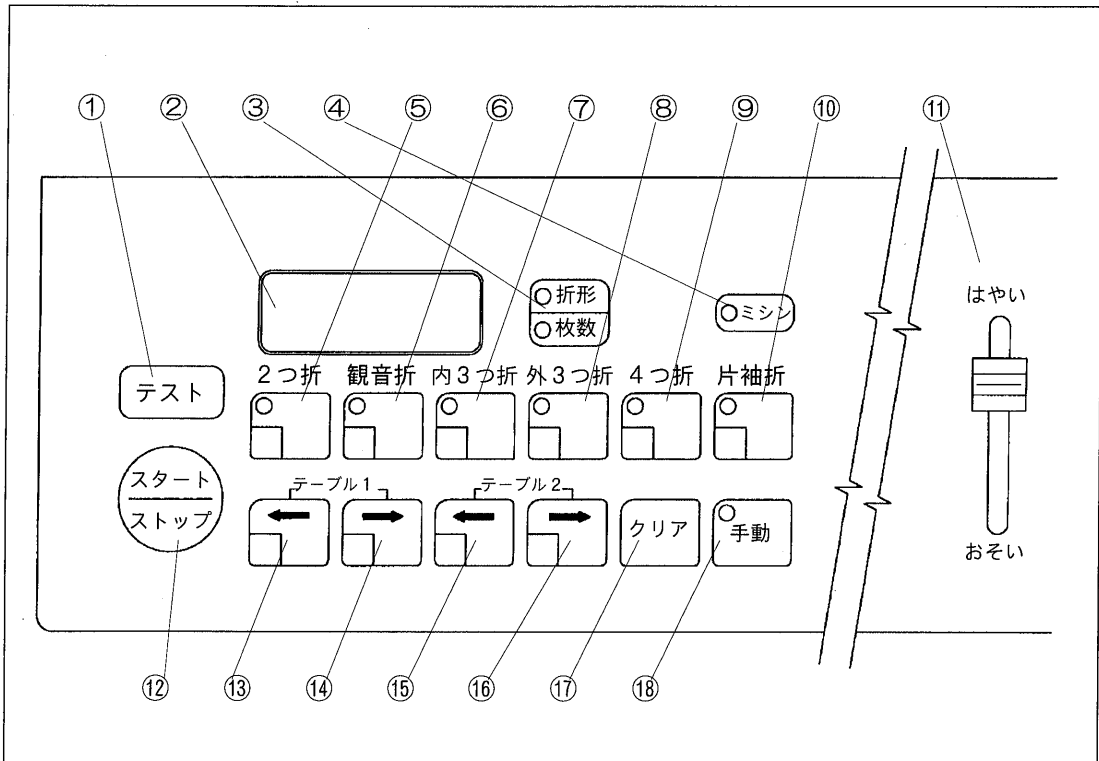
付属品	個数	☒
テーブル1	1	
テーブル2	1	
補助用紙ガイドASS 'Y左	1	
補助用紙ガイドASS 'Y右	1	
電源コード	1	
機械カバー	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	

3) 各部の名称



番号	名称	番号	名称
①	ローラカバー	⑪	操作パネル
②	左化粧カバー	⑫	テーブル2
③	給紙ローラー	⑬	右化粧カバー
④	用紙ガイド	⑭	テーブル1ソケット
⑤	補助テーブル	⑮	テーブル2ソケット
⑥	排紙ローラー	⑯	電源スイッチ
⑦	排紙テーブル	⑰	インレット
⑧	排紙ストoppa	⑱	ブレーカ
⑨	ストoppa微調整ツマミ	⑲	給紙テーブル
⑩	テーブル1	⑳	給紙テーブルレバー

4) 操作パネル名称

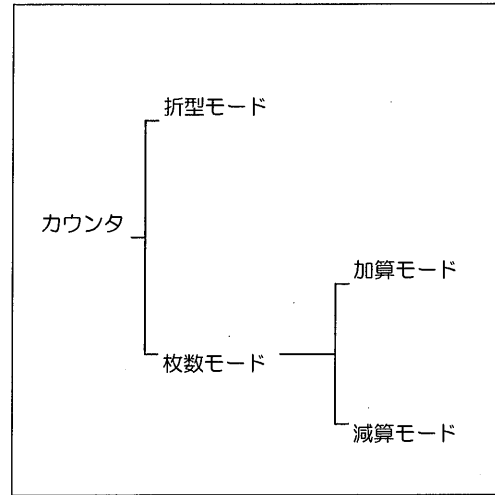


番号	名称	はたらき
①	テストキー	テスト折りを2枚
②	カウンタ	折型・枚数・エラーコードを表示
③	折型・枚数キー	カウンタのモードを変更
④	ミシンモードランプ	オプションのミシンユニットを装着したとき点灯
⑤	2折りキー	折型と枚数を入力
⑥	観音折りキー	
⑦	内3折りキー	
⑧	外3折りキー	
⑨	4折りキー	
⑩	片袖折りキー	
⑪	速度ボリューム	速度を調整
⑫	スタート・ストップキー	スタートとストップ
⑬	テーブル1左調整キー	ストップパの移動と枚数入力
⑭	テーブル1右調整キー	
⑮	テーブル2左調整キー	
⑯	テーブル2右調整キー	
⑰	クリアキー	カウンタをクリア・エラーをリセット
⑱	手動キー	自動・手動モードの切替 ※状態は電源を切っても記憶しています

5) カウンタ表示

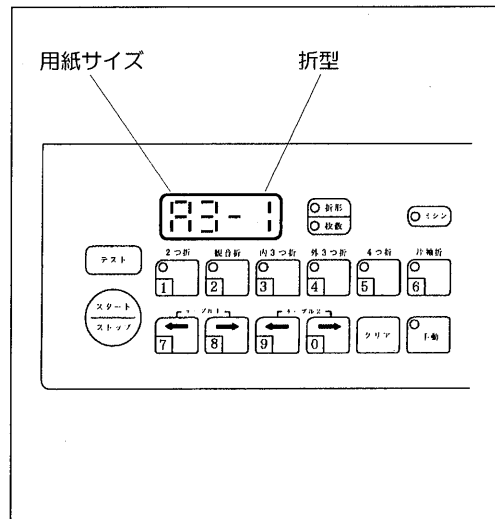
カウンタは図のようなモード体系をもちます。

折形モードと枚数モードの切替は、折型・枚数キーで行います。1回押すごとにモードが交互に切り替わり、ランプが点灯します。



折形モードの表示

表示	用紙サイズ	表示	折型
00	定形外	0	未決定
b5	B5	1	2折
A4	A4	2	観音
b4	B4	3	内3
A3	A3	4	外3
X		5	4折
		6	片袖



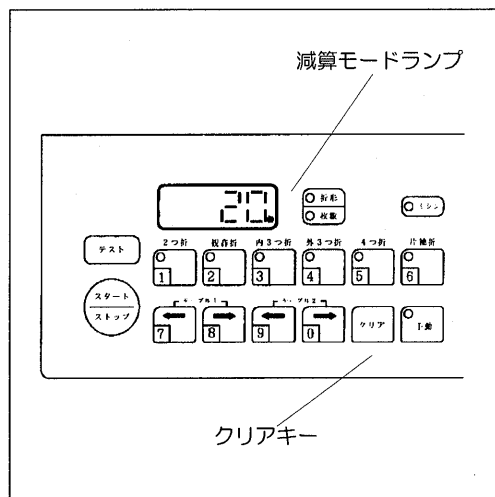
カウンタモードの表示

減算モードランプなし：加算モード
減算モードランプあり：減算モード

ポイント

クリアキーでカウンタをゼロにすると加算モードに、数値キーで希望枚数を入力すると減算モードになります。

例) 図は減算モードを現します。

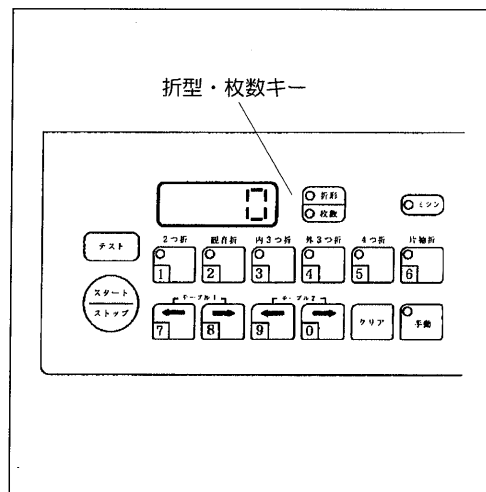


6) カウンタモード

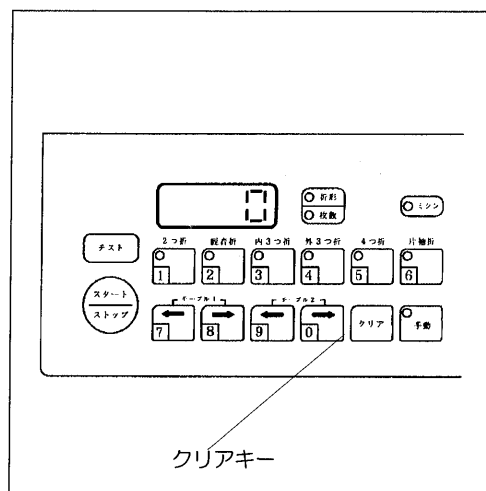
(A) 加算カウンタ

一枚折るごとに、カウンタが+1します。

折型・枚数キーを押して、枚数モードランプを点灯させます。(枚数モード)



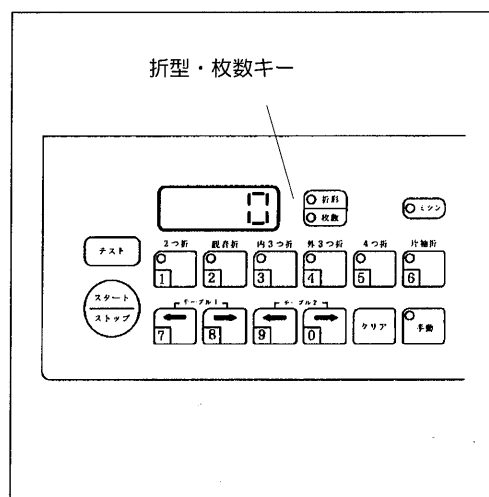
クリアキーを押してカウンタをゼロにします。



(B) 減算カウンタ

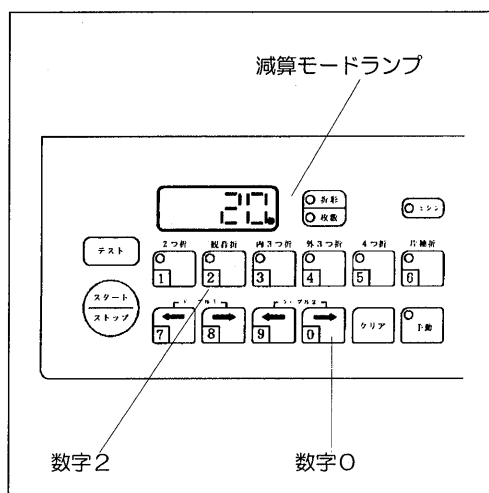
一枚折るごとに、カウンタが-1します。

折型・枚数キーを押して、枚数モードランプを点灯させます。(枚数モード)



希望の枚数を数字キーで入力します。
(ここでは20枚とします。)

減算モードランプが点灯します。



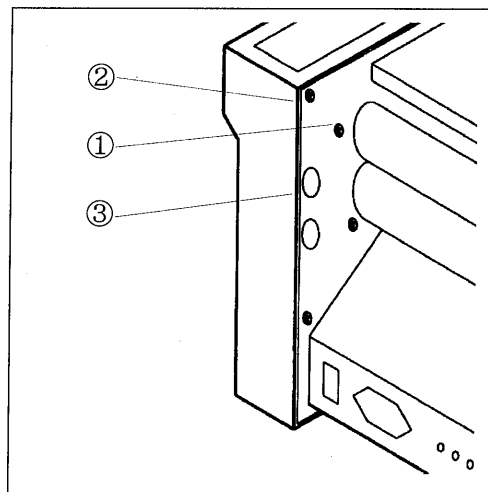
7) 準備

テーブル1・2を本体に取り付けます。

テーブル1の前切欠部を本体のピン①に差し込んでから、後切欠部をピン②に落とし込みます。プラグをコネクタ③に差し込みます。

注意：

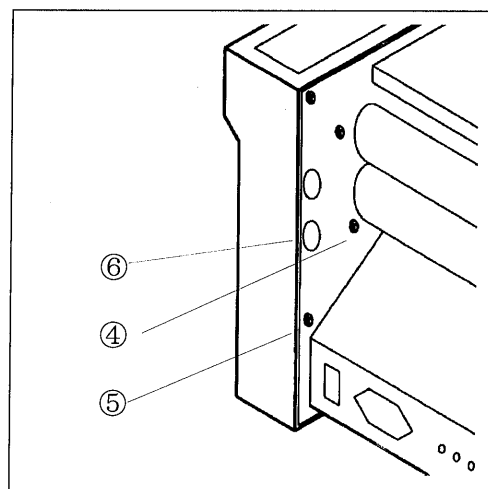
コネクタには方向性があります。
無理に差し込むと故障の原因になります。



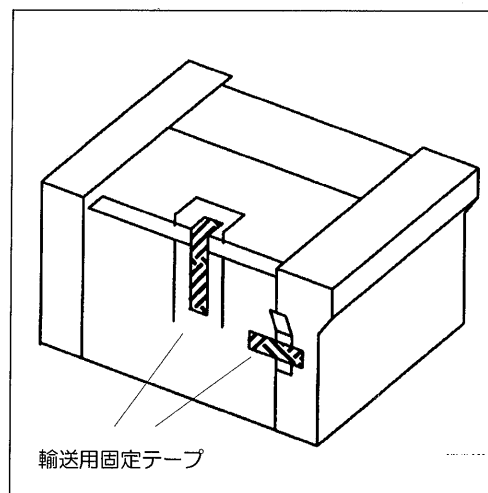
テーブル2の前切欠部を本体のピン④に差し込んでから、後切欠部をピン⑤に落とし込みます。プラグをコネクタ⑥に差し込みます。

注意：

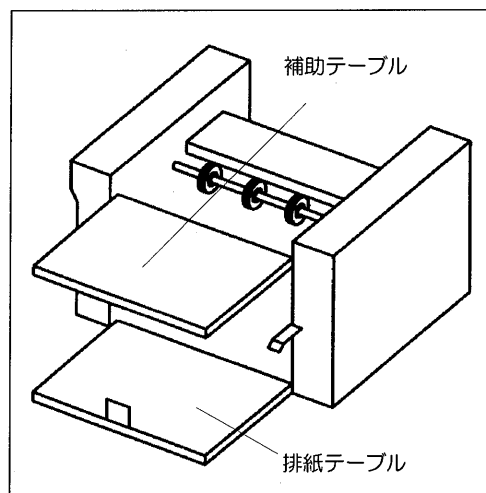
コネクタには方向性があります。
無理に差し込むと故障の原因になります。



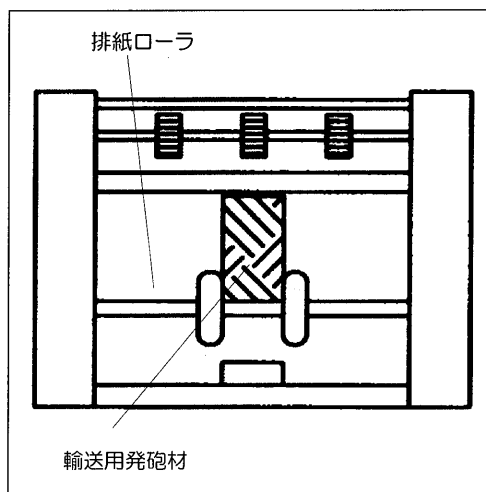
輸送用固定テープは取り除きます。



排紙テーブルを開き、補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします。

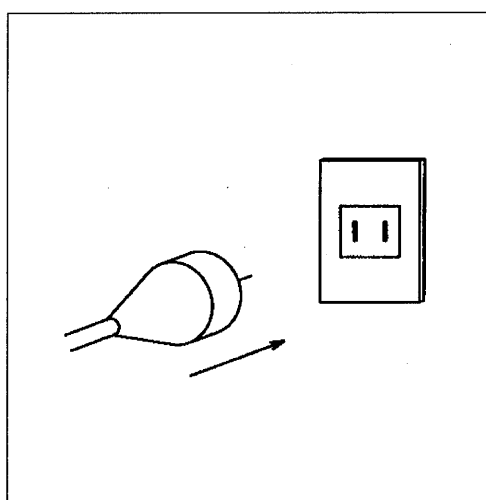


排紙ローラを固定している、輸送用発砲材を外します。



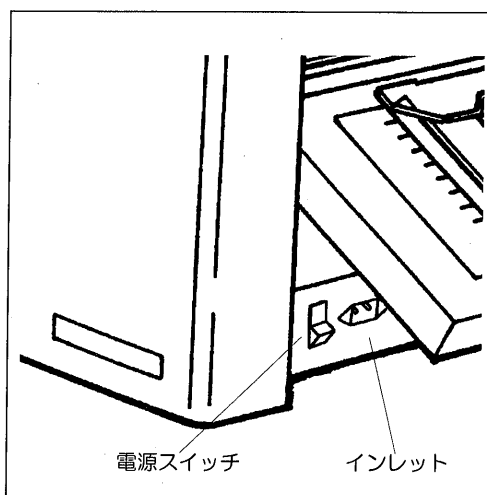
電源コードをコンセントに差し込みます。

注意
必ずほどいて使用してください。
付属の電源コード以外は使用しないでください。
コンセント形状は各国において異なります。

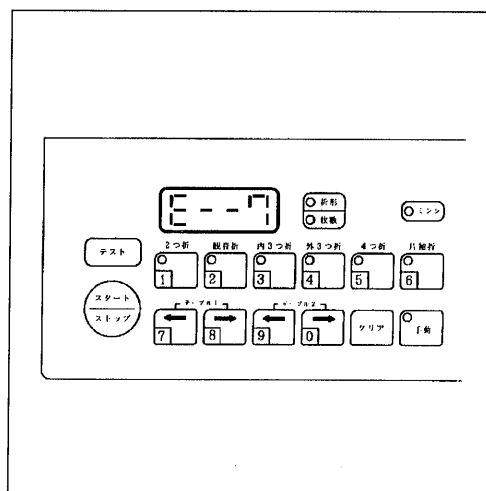


電源コードをインレットに差込みます。
電源スイッチをオンにすると、テーブル1・2の
ストッパープレートが原点に移動しアラームが鳴
ります。

※手動モードの場合、ストッパープレートは移動
しません。



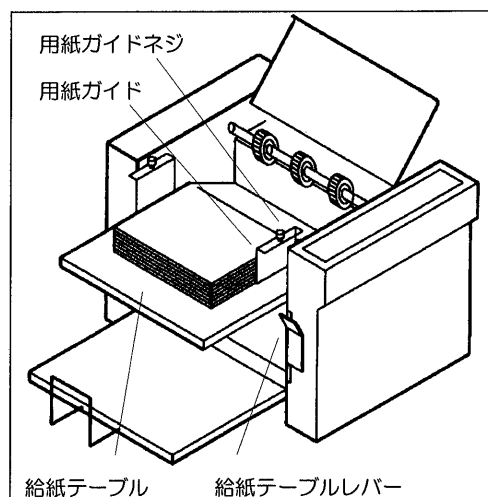
もしも、正常に原点へ移動できなかった場合、カ
ウンタにエラーコードが表示されアラームが鳴り
ます。(エラーコードは27~28頁参照)



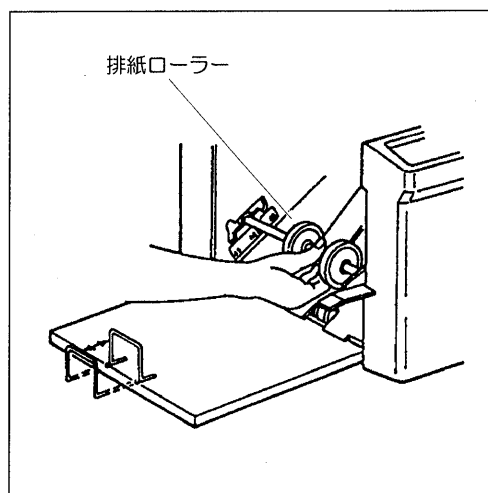
8) 使用方法

(A) 定型紙の定型折り

定型の用紙を定型折りする方法
※電源オンの直後の状態から説明します。
定型サイズの内紙をセットします。
給紙テーブルレバーを上げます。
用紙ガイドネジを緩めて、用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。
印刷面を上（片袖折りは下）にして、きれいに揃えてから給紙テーブルにのせます。
用紙ガイドを用紙に密着させて、用紙ガイドネジを締めます。
給紙テーブルレバーを下げます



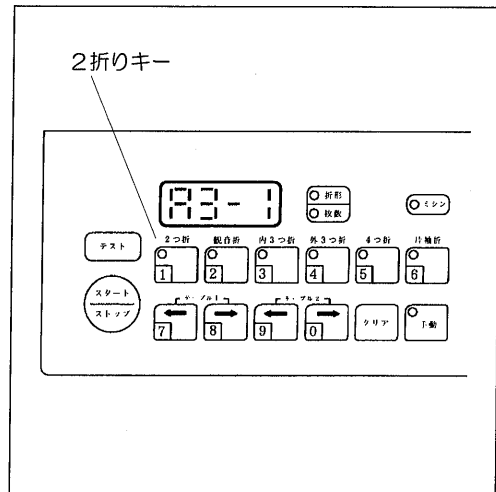
排紙ローラセット：
用紙サイズに合った排紙ローラの位置に移動します。



折型指定：

6種類（2折り・観音折り・内3折り・外3折り・4折り・片袖折り）の折型から指定します。希望の折型キーを押してください。カウンタに用紙サイズと折型番号を表示します。

例）A3サイズ用の紙を使用し、2折りにセットした状態。

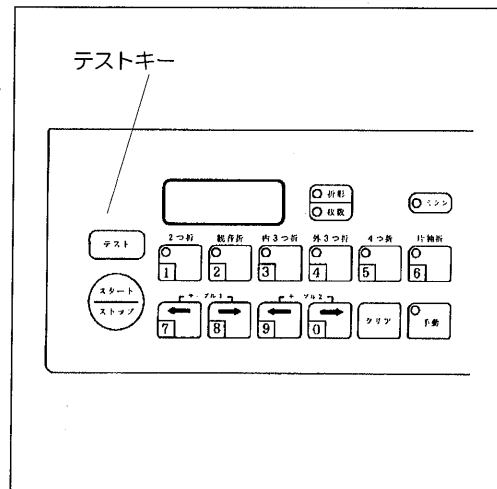



試し折り：

テストキーを押すと、カウンタに影響することなく2枚折ります。

2枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。

折りズレを修整する場合→微調整・斜行調整19～20頁を参照。




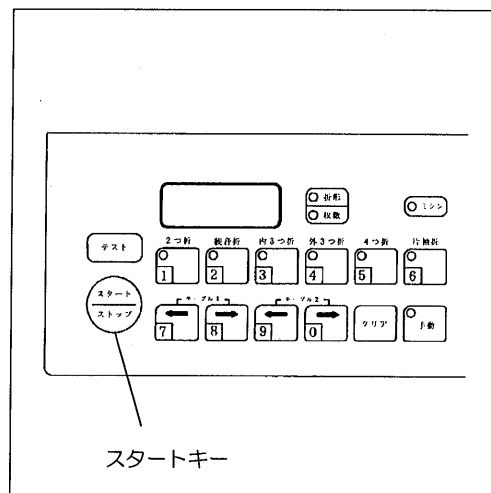
⚠ 注意	
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらしめないでください。 けがの原因になります。

連続折り：

スタートキーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度スタートキーを押すと停止します。カウンタは加算していきます。

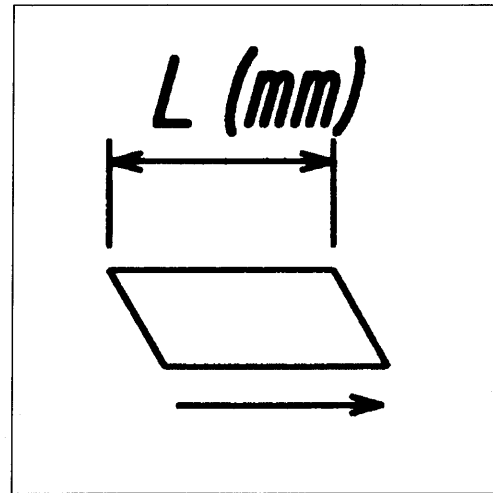
希望枚数のみ折りたい場合は減算カウンタ参照。

⚠ 注意	
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらしめないでください。 けがの原因になります。



(B) 定型外用紙の定型折り

用紙の長さを測ります。
矢印は給紙方向です。

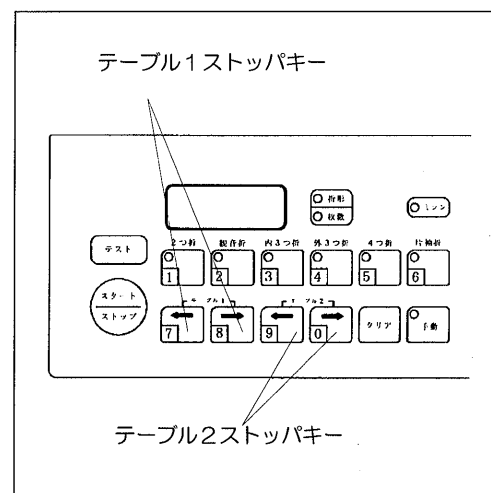


測定値Lに対する、テーブル1・2のストップ位置を計算します。

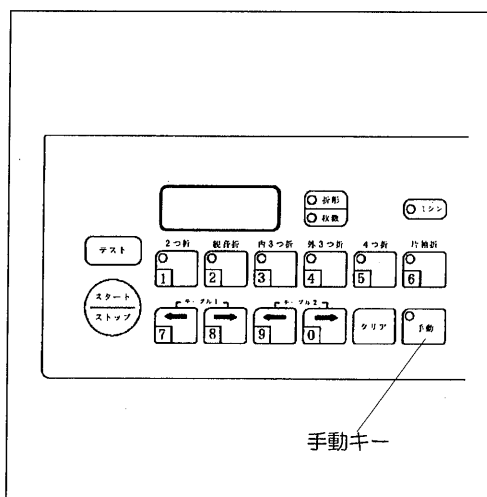
例) 300mmの用紙を外3折りにする場合。
 テーブル1 = $300 \times (2/3) = 200\text{mm}$
 テーブル2 = $300 \times (1/3) = 100\text{mm}$

	テーブル1	テーブル2
2折り	原位置	1/2
観音折り	1/4	1/2
内3折り	1/3	1/3
外3折り	2/3	1/3
4折り	1/2	1/4
片袖折り	3/4	1/4

テーブル1・2のストップを移動します。

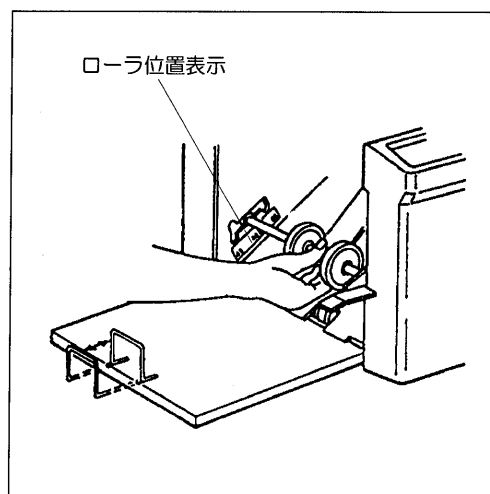


手動モードにします。
(手動モードランプ点灯)



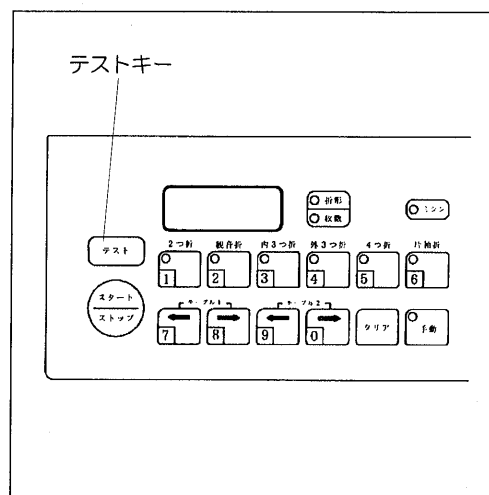
排紙ローラセット：
用紙サイズに合った排紙ローラの位置に移動します。

アドバイス
用紙サイズと排紙ローラの位置関係は「ローラ位置表示」シールを参考にしますが、もしうまく排紙できない場合は、他の位置にしてみてください。



試し折り：
テストキーを押すと、カウンタに影響することなく2枚折ります。
2枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。
折りズレを修整する場合→微調整・斜行調整19～20頁を参照。

⚠ 注意	
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらないでください。 けがの原因になります。

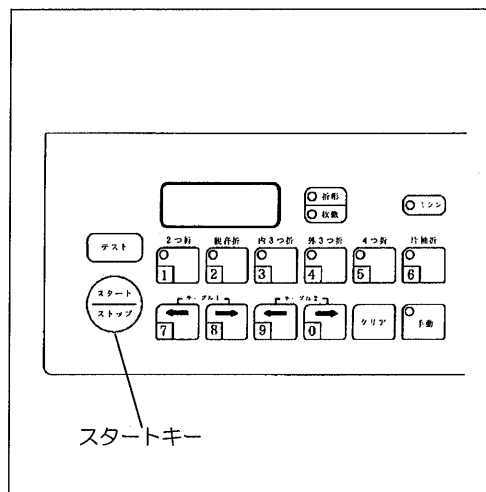


連続折り：

スタート・ストップキーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。

希望枚数のみ折りたい場合は減算カウンタ9頁参照。

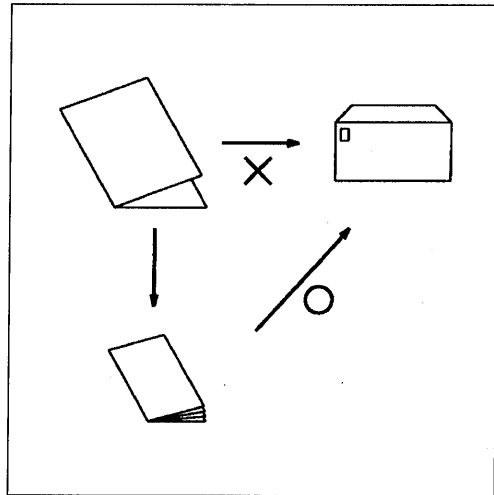
⚠ 注意	
⊘	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらないでください。けがの原因になります。



(C) クロス折り

クロス折りは、2折りした用紙をさらに4折りや内3折りなどにすることをいいます。

A3の用紙を4折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。



注意：

クロス折りに使用できる用紙は 105 g/m^2 までですが、諸条件によって変動します。

用紙種類

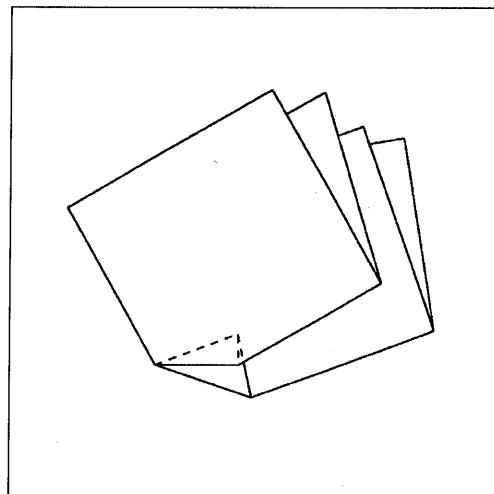
用紙サイズ

縦目・横目

温度・湿度

印刷状態

通常の折りより横ズレが大きくなったり、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが機械の故障ではありません。



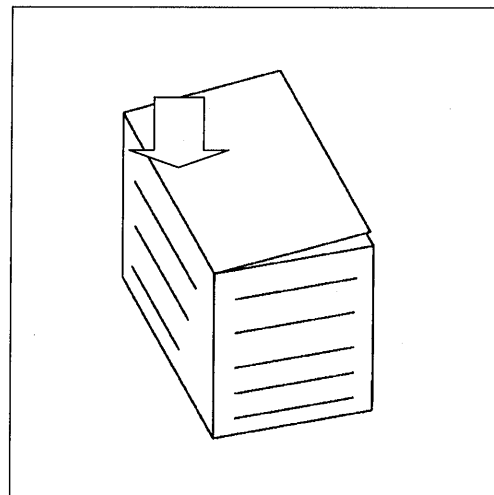
ポイント：

2折りの折り目を手でよくしごきます。

用紙は少な目に積みます。

補助用紙ガイドを使用します。

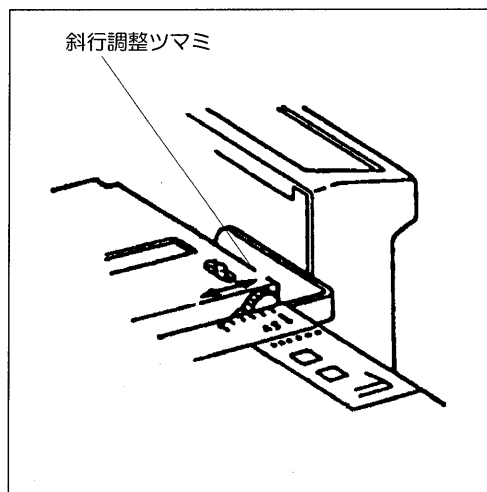
補助用紙ガイドは調整19頁を参照。



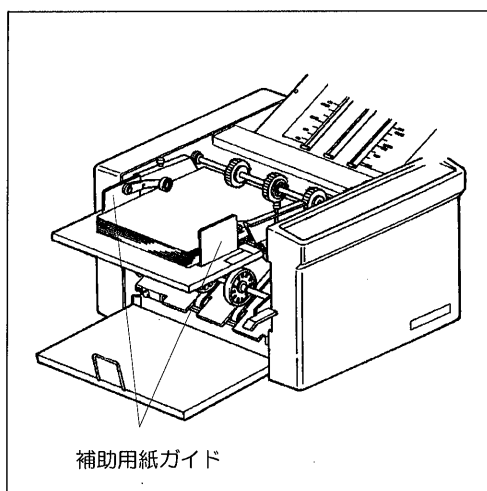
9) 調整

(A) 斜行調整

用紙裁断時の曲がり、その他の要因で折り合わせが曲がっている場合は、斜行調整つまみで曲がりを修整することができます。



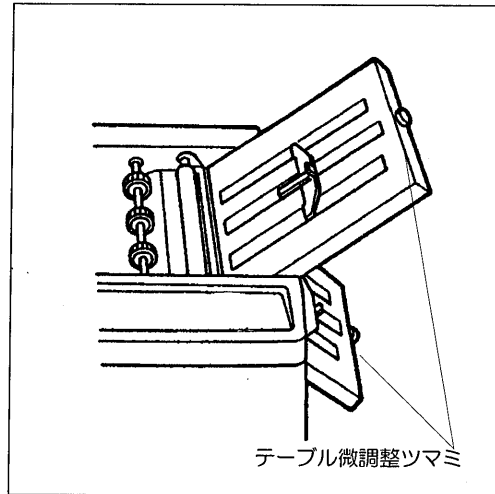
参考：補助用紙ガイドを使用して、用紙が曲がって給紙するのを矯正すると効果があります。



(B) 微調整

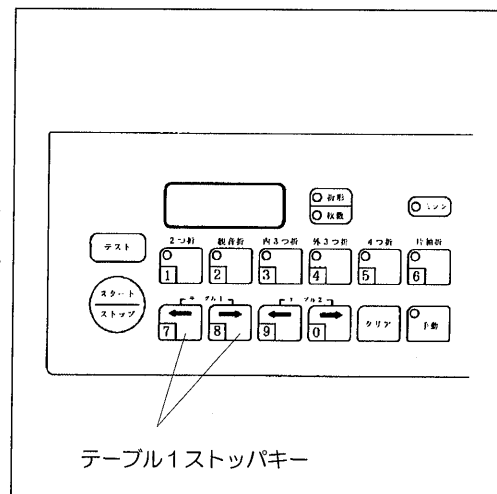
手動キーを押して、手動モードランプを点灯させます。(手動モード)
 テーブル微調整ツマミでストッパを移動させます。

注意：手動モードにしないと、スタート時に微調整を無視します。

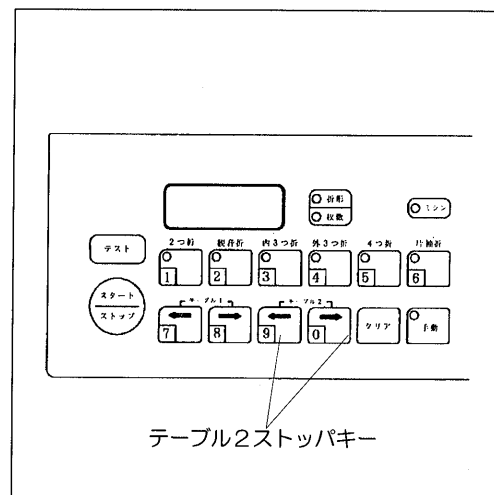


ストッパの移動量が大きい場合は、ストッパキーを使うと便利です
 折型・枚数キーを押して、折りモードランプを点灯させます。(折りモード)
 ストッパーキーを押して、希望の位置へストッパを移動します。










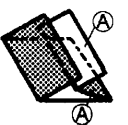





テーブル1の場合→






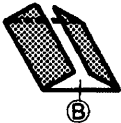


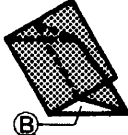





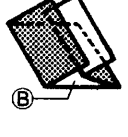


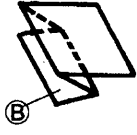


テーブル2の場合→



テーブル1の微調整

	折形	折面A	テーブル1 微調整ツマミ
2折り	<p>テーブル1を通りません。</p>		
観音折り		長い	
		短い	
内3折り		長い	
		短い	
外3折り		長い	
		短い	
4折り		長い	
		短い	
片袖折り		長い	
		短い	

テーブル2の微調整

	折形	折面②	テーブル2微調整ツマミ
2折り		長い	
		短い	
観音折り		長い	
		短い	
内3折り		長い	
		短い	
外3折り		長い	
		短い	
4折り		長い	
		短い	
片袖折り		長い	
		短い	

10) 記憶

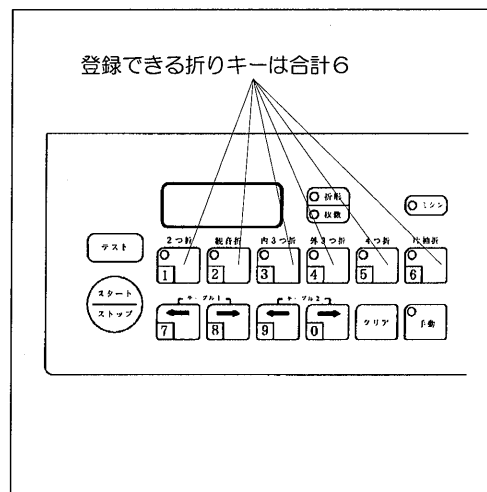
(A) 記憶

折った結果を、折りキーに記憶することができます。

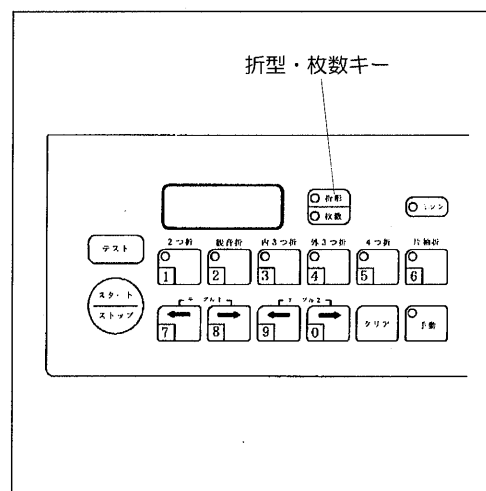
注意

記憶済みの折りキーは、メーカー設定の定型折りができなくなります。

希望の折りができる状態に、あらかじめ準備しておきます。



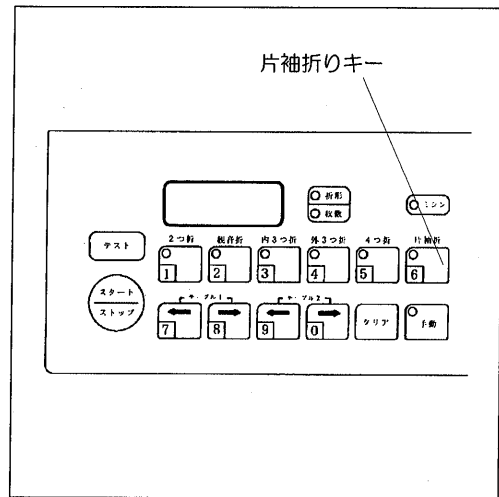
折型・枚数キーを押して、折りモードランプを点灯させます。(折りモード)



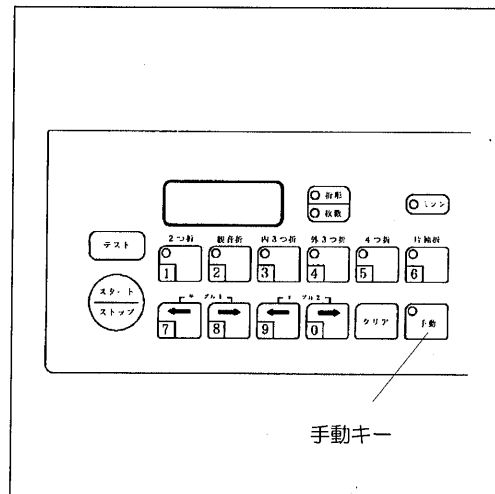
記憶を割り付ける折りキーを選択します。

ポイント
使用しない（頻度の少ない）折り型を選びます。

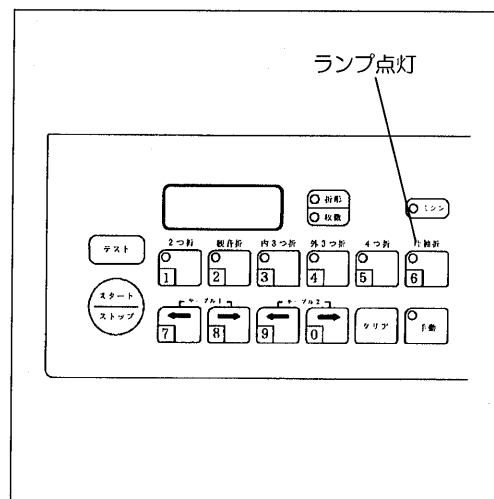
例）片袖折りキー



手動キーを押しつつ、アラームが一回鳴ったらすぐ離します。



記憶した折りキーはランプが点灯します。



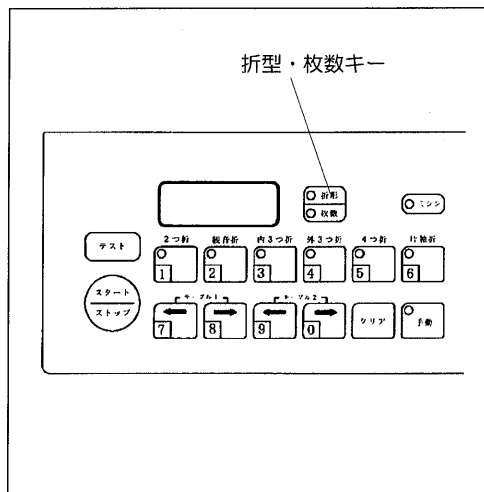
(B) 記憶解除

折りキーの記憶を解除します。

ポイント

メーカー設定の定型折りができるようになります。

折り型・枚数キーを押して、折りモードランプを点灯させます。(折りモード)

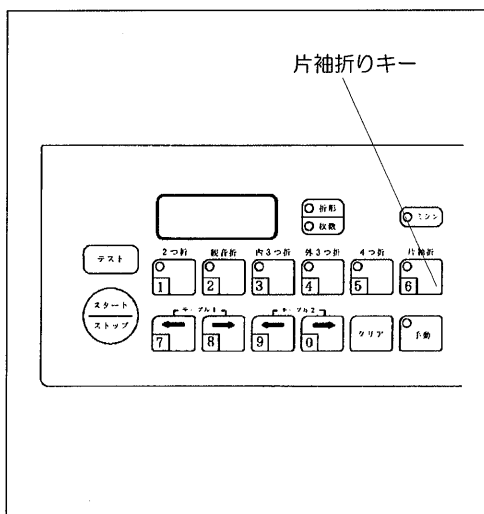


記憶解除する折りキーを選択します。

ポイント

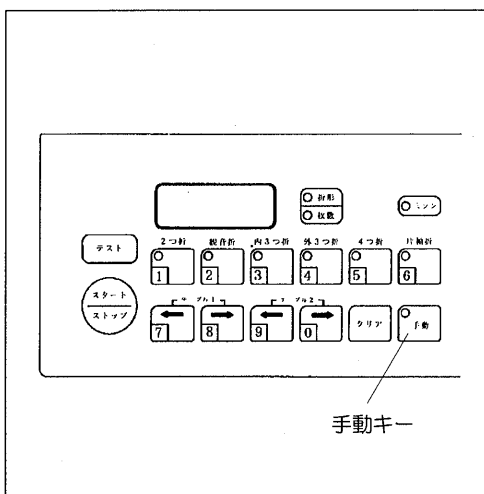
記憶している折りキーは、ランプが点灯しています。

例) 片袖折りキー



手動キーを押してつづけて、アラームが2回鳴ったらすぐ離します。

記憶解除した折りキーはランプが消灯します。



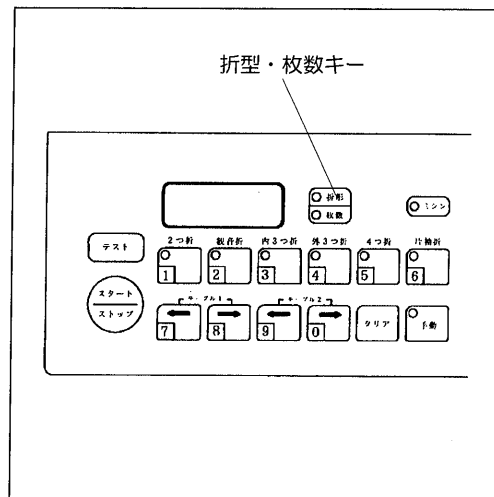
(C) 全記憶解除

すべての折りキーの記憶を解除します。

ポイント：

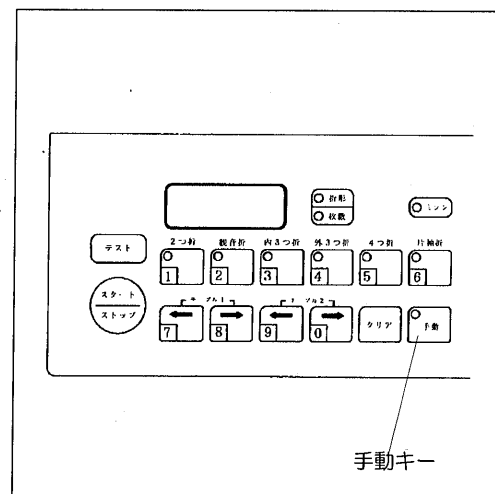
メーカー設定の定型折りができるようになります。

折型／枚数キーを押して、折りモードランプを点灯させます。(折りモード)



手動キーを押しつづけて、アラームが3回鳴いたらすぐ離します。

記憶解除した折りキーはランプが消灯します。



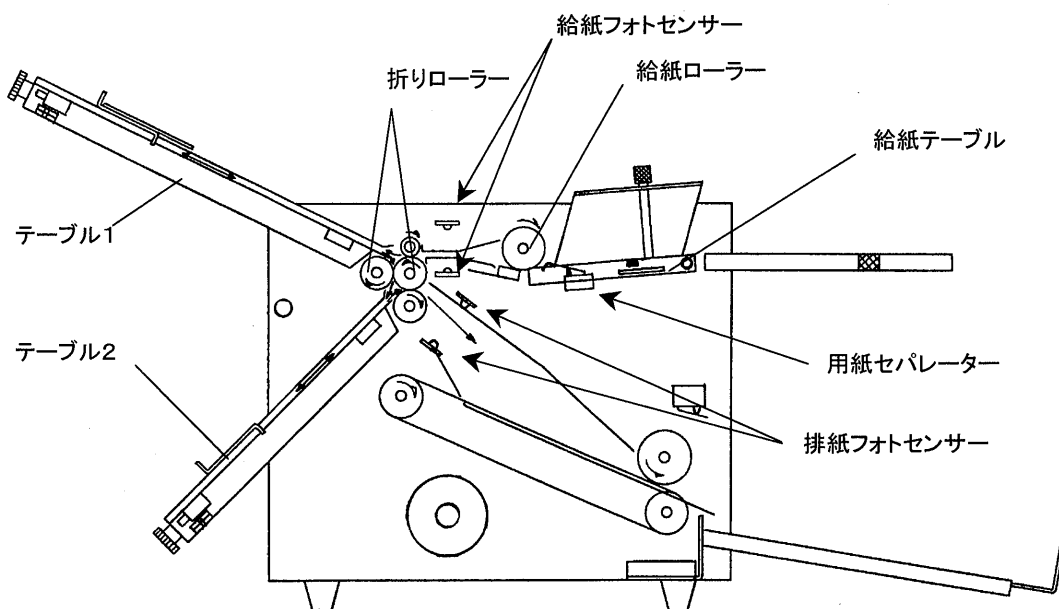
11) エラーコード

<p>Eではじまるエラーコードがカウンタに表示された時、何らかのトラブルが発生しています。原因をこのトラブルシュートで解決してから、クリアキーでエラー解除の上作業を続けてください。</p>		
表示	原因	対応
E-1	折型が決定していません。	2折りなどいずれかに指定します。 手動モードでお使いください。
	用紙サイズが定型外で読み取れません。	手動モードでお使いください。
E-2	給紙テーブルが下がっています。	給紙テーブルレバーを下げて、給紙テーブルを上昇します。
E-3	用紙がありません。	給紙テーブルに用紙をのせます。
	用紙検知スイッチから用紙が浮いています。	用紙を追加します。
E-4	排紙センサまで用紙が届きません。	給紙スリップした場合は、用紙を積み直します。 テーブル1・2に用紙がある場合は取り除きます。
E-5	排紙センサで用紙が止まっています。	排紙センサにある用紙を取り除きます。
E-6	テーブル1のトラブル	テーブル1を正しくセットします。 コネクタを正しく接続します。 最上端・最下端でロックしていたら微調整ツマミで解除します。 テーブル1に用紙の破片が詰まっていたら取り除きます。
E-7	テーブル2のトラブル	テーブル2を正しくセットします。 コネクタを正しく接続します。 最上端・最下端でロックしていたら微調整ツマミで解除します。 テーブル2に用紙の破片が詰まっていたら取り除きます。
E-8	給紙できません。	用紙を正しく積載します。 安全カバーを閉めます。 給紙ローラを正しくセットします。

表示	原因	対応
E-9	空き（通常表示することはありません。）	
E-10	エラー解除していません。	クリアキーでエラー解除してください。
E-11	排紙センサに用紙があります。	排紙センサの用紙を取り除きます。 排紙がスムーズになるように排紙ローラの位置を調整します。

1 2) トラブルガイド

現象	原因	対応
電源をONしても、操作パネルのランプが点灯しない。	電源プラグの抜け。 ブレーカが動作。	電源プラグを差し込んでください。 ブレーカを押して、リセットしてください。
紙詰まり・重ね送り・空送りが多発する。	給紙ゴムローラの汚れ。 用紙セパレータの汚れ。 折りローラの汚れ。 用紙がカールしている。 給紙ゴムローラの摩耗。 用紙セパレータの摩耗。	汚れを落としてください。 カールを矯正してください。 摩耗した場合交換してください。
用紙が汚れる。 シワが発生する。	給紙ゴムローラの汚れ。 用紙セパレータの汚れ。 折りローラの汚れ。	汚れを落としてください。
折りローラ部分で異常音がする。	折りローラの汚れ。	汚れを落としてください。
用紙を1枚しか排紙しない	排紙フォトセンサーが汚れている	排紙フォトセンサー（直径5mmのガラス材でできた棒状のもの）を清掃してください。その時、ティッシュペーパー及び乾いた布を手で巻きつけて排紙フォトセンサーの表面を拭いてください。
用紙を1枚しか排紙しない （ミシンユニット使用時）	給紙フォトセンサーが汚れている	給紙フォトセンサー（直径5mmのガラス材でできた棒状のもの）を清掃してください。その時、ティッシュペーパー及び乾いた布を手で巻きつけて給紙フォトセンサーの表面を拭いてください。



取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

部門・部課名	所在地	TEL FAX
東京	東京都中央区新川 1-10-14 ニューリバービル 2F	(03) 5657-4071 (03) 5657-4081
大阪	大阪府中央区和泉町 2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06) 6920-2460 (06) 6920-2780
札幌	北海道札幌市中央区北 1 条東 4-1-1 サッポロファクトリー(株)内田洋行内 1F	(011) 241-2825 (011) 241-2827
福岡	福岡県福岡市博多区東光 2-10-11	(092) 476-5011 (092) 476-5009
名古屋	愛知県名古屋市中区丸の内 2-4-20	(052) 220-5270 (052) 222-7640